第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	2025/3/20	企業名	ヤマハモーターハイドロリックシステム株式会社

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面(分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・「ISO14000環境部会」の「CN分科会」を中心に活動推進中 ・24年第2工場屋根に太陽光発電設置、発電中 ・25年追加導入中、自社基準の再生エネルギー使用比率目標達成を目指す ・東京電力様経由でグリーン電力購入、工場電力はCO2排出ゼロ化達成 ・地下水を利用した空調制御を導入しLNG使用量の抑制に取り組んでいる ・各製造工程でのエネルギー使用量の見える化推進しながら、省エネ活動を網羅的に進めている							●					●	●				
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・「ISO14000環境部会」の「廃棄物分科会」を中心に活動推進中 ・廃棄物排出量を捉え削減に向けた活動実施中 ・減圧蒸留による切削廃液の減容化、再生水の再利用、及びめっき排水の再利用を協力会社と検討中									●			●	●	●	●		
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同	・環境負荷低減として、表面処理工程からの排水を沼津市と協定した放流規制値より厳しい社内基準値を設け、社内での分析と分析業者で発行した計量証明をもとに監視している。自社排水処理施設にて無害化し河川へ放流 ・再生エネルギー使用比率高めている ・工場周囲のクリーンキャンペーンゴミ拾い実施												●	●	●	●		
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請	・「グリーン調達ガイドライン」、「ＤＥ＆Ｉ方針」に基づき、環境負荷や人権などに配慮している										●		●	●	●	●		
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得	・IATF16949認証取得								●	●			●					
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・労使共同で時間外削減・有休取得率向上を含む働き方改革を展開しており、毎年前年比で改善が実現されている ・休みが取りやすい職場環境づくり推進、欠勤率も加味した人員配置を実施 ・2024年はMIN8日／年の有休取得の目標を掲げ100%の達成率を実現 ・毎週金曜日、祝日前、給与／賞与支給日のノー残業デー設定 ・ライフスタイルに合わせた働き方を実現する為、フレックス勤務、リモートワークの制度が整備／活用されている ・職場の心理的安全性を向上させる社内研修の実施 ・ISO45001認証取得を目指している			●		●			●		●							
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・「DE＆I方針」に基づき人材の多様性を尊重し、公平な機会の確保に向けた取組み ・フレックス制度、時短勤務、リモートワーク制度の導入による子育て世代の勤務支援 ・外国人社員の1名採用 ・独自の有休特別休暇を設けており、子の看護、家族の介護、私傷病などに休暇利用可能 ・沼津男女共同参画推進事業所認定取得					●			●		●							

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・コンプライアンスファーストを掲げ、ハラスメントの徹底撲滅に向けた活動の展開 ・コンプライアンスの社内教育の実施、啓蒙週間を毎月設け事例に学ぶ機会を全従業員に展開 ・全従業員を対象にした年1回のコンプライアンス意識調査を実施し結果に対しての活動を展開、2024年は前年に対し肯定ポイントUP ・コンプライアンス相談窓口を設置（外部機関）、また社内にも「コンプライアンス相談事務局」を設け、従業員が相談しやすい環境を提供					●			●									
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・テレワーク推進、業務効率化に向けてTeamsを活用したオンライン会議の導入 ・定常業務におけるAIの活用範囲拡大を進めている								●	●		●	●					
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・大学生向けにオープンカンパニーを実施し、製品体験や職場体験を実施 ・HPや採用媒体などWEBでの採用情報発信				●				●		●							
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・管理監督職のメンタルヘルス研修を実施し、良好なラインケアを支援している ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規定の整備、復職に向けた面談などの対応 ・全社員を対象に年1回ストレスチェックを実施し必要に応じ会社（産業医・保健師）との相談の場の提供 ・会社費用にて年1回インフルエンザ予防接種の実施 ・カフェテリアプラン制度に人間ドッグ、予防接種のメニューの用意			●					●									
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・階層別教育体系に基づく教育の展開（新入社員、OJT、中堅社員、新任基幹職、マネジメント） ・外部コンサルタントを活用し、マネジメントスキル向上や次世代リーダー育成研修の企画と実施 ・従業員に対する技術教育、コンピテンシー教育、語学教育機会を提供している ・カフェテリアプラン制度に各種自己啓発メニューを用意し学習を支援 ・資格に対する報奨金制度による社員の能力開発モチベーションの促進				●				●									●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・贈収賄／不正競争行為防止に関する研修の実施 ・違法行為／懸念行為の相談窓口となるコンプライアンスホットラインを設け、早期に声をあげることを従業員に伝えている								●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・「サステナビリティ推進会議」にて主管部門設置 ・「サステナビリティ基本方針」に則り、取組計画を策定し活動を推進している	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・弊社ＨＰ更新の際、サステナビリティ事案を掲載												●					
17	自由 記述	環境・経済・社会		・沼津市SDGｓ推進パートナー登録制度に登録し、登録企業/団体との交流を深め地域社会貢献、環境保護につながる施策を見出し推進していくよう努める	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。
①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること
②10項目以上記載すること